

「九WE会(九州女性技術者の会)」H21年度の活動報告について

九州地方整備局では、女性技術者による意見交換を通して九州地整の魅力を向上させるための方策検討や、女性技術者がいきいきと働くことができる職場づくりを進めるため、H20年3月13日に「九WE会(九州女性技術者の会)」設立し、さまざまに取り組みを行っている。

1. 活動目的及び内容

- ・ 公共事業を取り巻く環境が厳しくなる中、地域や生活に真に根ざした国土交通行政の展開に寄与するため、①女性技術者による意見交換を通して九州地整の魅力を向上(女子学生の採用に向けたPRの実施、女性や子どもをターゲットにした防災・減災方策等についての議論)、②女性技術者がいきいきと働くことができる職場づくり(女性ならではの問題意識(結婚、出産、育児等)や、防災体制における育児世代の支援、誰もが参加しやすい研修の検討など女性技術者がやりがいをもって働くことができる職場づくりについて議論)、③女性技術者の結びつきの強化によるモチベーションの向上(定期的な会議を(北ブロック、南ブロック会議はそれぞれ1回、全体会議は年1回)開催して情報交換を行うとともに、会則の策定、メンバーリストの立ち上げ、プロフィール集の作成、産休、育休者や出向者への情報提供など、会としての機能の充実)等を目的に取り組んでいる。

2. これまでの取り組み

- ①第1回北ブロック意見交換会(H21.8.28：博多)
- ②第1回南ブロック意見交換会(H21.9.8：宮崎)

①第1回北ブロック意見交換会 (H21.8.28)

【趣 旨】九WE会の設立主旨及びH20年度活動報告を行うとともに、九州地整の魅力向上(キーワード『防災・減災』、『暮らし(安心・安全)』、『美しい風景づくり』)に向けて各自の経験や課題をもとに意見交換

インターシップとの意見交換会実施

【出席者】女性技術者18名、インターシップ4名、企画部3名、九州技術事務所1名
【主な意見】

- ・ いいものづくりには積算、特記仕様書など基準の底上げが必要である。例えば、最低限環境に配慮することを記載するなど良いサンプルがあれば配布してもらってはどうか。
- ・ 道路管理と景観・環境の折り合いをどうつけるべきかに悩んでいる。歩行者と沿道の住民の方の意識に違いがある。
- ・ 管理費の問題、地元の要望で決めるのではなく、風景へのなじみやCO₂削減などの観点も必要では。
- ・ 大分市には“みんなの森プロジェクト”がある。

- ・東京都には、街路樹に実のある木を植樹した事例がある。
- ・循環型サイクル管理を目指すべきである。



②第1回南ブロック意見交換会（H21.9.8.）

【趣 旨】九WE会の設立主旨及び H20 年度活動報告を行うとともに、九州地整の魅力向上（キーワード『防災・減災』、『暮らし（安心・安全）』、『美しい風景づくり』）に向けて各自の経験や課題をもとに意見交換
インターシップとの意見交換会実施

【出席者】女性技術者 8 名、企画部 3 名、九州技術事務所 1 名

【主な意見】

- ・職員で川づくりの案を作り石積み工事を施工したが、異動によって当初の雰囲気気が違っていた。目標のイメージを所内、施工業者に伝えることの大切さを感じた。
- ・川づくりに関しては、所内のつながりをつづけるしくみをつくるとともに、外部の方等地域の方に見守っていただく方向になるとよいのではないか。地域の方との信頼関係構築にもつながる。
- ・地震防災訓練があったが、全員参加ではなく、BCPとして小人数で行うとか事務系職員で行うなどの訓練を行ってもよいのではないか。
- ・点検リストを誰もがチェックできるようなしくみづくりが必要。
- ・川内川では、初動体制マニュアルを防災室においており、誰もが水防に携われるようにしている。事務所全体で取り組み雰囲気があり、水防後は改善点をすぐ修正するようにしている。

【決定事項】

- ・意見交換を踏まえ、『こんなことやりたいプロジェクト』を募集する
- ・全体会議で会長ならびに役員について選任する。
- ・H22 年度の入省案内パンフレットについては、女子学生に向けた紙面を九WE会で作成する。

③その他の意見（会の運営について）

- ・時間的に会議出席が難しい人もいるので、イントラで意見交換が行えるような場を作ってもらえないか。
- ・意見交換会においては、メンバーだけで行う場をつくってもらいたい。活発な意見交換ができると思う。



以上